

活動から見えてきたこと



戦後・被爆80年トークイベントの様子

ます。

また、「架け箸」と繋がりがある人が、「あの架け箸さんが売っているパレスチナのー」と考えてくれる。パレスチナに関するニュースで信じられないような言葉や映像が並んで、自身と遮断しそうになっても、でもあそこは架け箸さんが販売している物を作っている場所だ…というふうに変換して考えられたり。自分が活動することでパレスチナに対する印象・受け止め方が変わるきっかけになっているということ、活動から見えてきたことです。

自分の活動をきっかけに

高橋さん

個人事業として開業をして、最初は一人で悩んでいたんですけど、出店していくうちに繋がりが増えていく。お互いの大事にしていることに、お互いに徐々に関心を持ち始めて、お互いにやってくることに首を突っ込んでいく関係性になったりして。それがパレスチナのことにも繋がっているなあと思い

パレスチナの平和が一番の願い

高橋さん

具体的なことは、こだわっていないですが、パレスチナという地域にいいイメージを持って接してくれる人が沢山増えていくことがとても純粋に嬉しいです。起業したときからメイドインパレスチナの商品は、日本ではほぼ出回っていないので、もっと身近になって欲しいという思いがあります。そのためにも自分も種をまいて、他の仲間とも協業をしたいです。また、今、生産者の人は、自分の身の安全を考えながら生活せざるをえない状況です。自分の生活と生業に集中して暮らせる環境になって欲しいということが大きな夢であり、実現したいことです。



パレスチナへの想いを語る高橋 智恵さん



架け箸で販売しているパレスチナの工芸品

くじけそうになったときに大事にしていること



参加者からの質問に答える粉川 なつみさん

経験、学ぶことはやりながらできる

粉川さん

新しいことを始めるときにはどうしても尻込みしてしまっ、大学に行っで勉強し直したり本を読んだりとか準備をしたほうがいいのかと思つた時に、かけてもらった言葉です。迷っている間に情勢が変わったり、できる環境がなくなってしまうかもしれない。挑戦できるときに行動する。何事にも心がけている言葉です。



ウクライナのアニメーション映画「THE STOLEN PRINCESS」のDVD

一歩踏み出す勇氣

粉川さん

自分の志、目標に、様々な方が共感してくれて、一緒に手伝ってくれる。そうすると、多くの人を巻き込めて、自分でやるよりも選択肢が広がるとすごく感じました。自分一人では無理だったことも、たくさんのおおかげで実現できました。巻き込む、みんなでやるってこういうことの大切さは学びになりました。また、ウクライナの映画を公開することが、ウクライナの支援に繋がる行動なのかと悩んだりしたん

続けてきたことで今がある

高橋さん

販売業はどんな分野でも大変ですよね。最初の頃なんて特にそうで、様々な外部要素の問題で乱高下するんだけど、でも続けているうちは失敗じゃない、続けられた人が今ここにいるんだよ、と声をかけてもらったことが今も私の原動力になっています。

お2人からみた日本、川西市とは

高橋さん

海外、パレスチナの方は、日本のことをすごく好意的に見ていて、日本の歌を聴いたり、アニメを見ていたり。私たちが思っているよりも見られているし知られているんだなということを知りました。川西市は良い意味でいつも変わらない安心感を感じます。他方で、自分がこういう活動をしていくことで、川西市にも海外に目を向けた活動をしている方がいるということを知りました。活動する範囲が増えると、自然と見える景色や出会う人が広がるんだということはすごく感じました。

ですが、ウクライナの方々からの、感謝の声をたくさん聞いて、一歩踏み出すという行動は、決して無駄じゃなかったなと思いました。

活動への思いや夢

世界を、

社会問題を知るきっかけに

粉川さん

映画はただのエンターテイメントでなくて、世界を知る入口だと思っています。ウクライナの映画も、映画を通してウクライナ侵攻に関心を持つ人が増えたように、映画は夢を持ちたり、世界を知ったり、価値感を広げるといいう役割があると思っています。映画を通して、社会問題に興味を持っていただくきっかけにもなっていけたらと思っています。

あとは、いろんな人に協力いただいでこまでやってこれたので、私自身もチャレンジされる方を応援していきたいです。映画という手段を通じて社会にインパクトを与えられるような会社と私自身になっていくことが今の夢です。

粉川さん

海外の映画関係者と話をすると、憧れの日本！といった感じで、日本人である自分よりも日本のアニメーションに詳しくたり、自分たちの国の作つた物が受け入れられ、尊敬されていることをとても実感します。川西市については、こんなにも川西市出身ということでも自分の活動を応援してくれる市が他には無いとよく言われます。温かい人たちが多いからこそだなというのとても感じます。



トークイベントを終えたお2人と越前市長